

2018 年度事業報告書

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

I 事業期間

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

II 事業の成果

平成 30 年度も、ICT を駆使し、年齢、性別、障害、文化などの違いに関わり無く、だれもが住み慣れた地域で、健やかに日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動にいきいきと参加できる地域社会の形成を目的とし、活動致しました。

ICT 推進事業の内、パソコン・スマホ講座については、本年も IT 情報弱者や格差をなくすため、富田林市社会福祉協議会や人権文化センターとの協働による「高齢者を対象としたパソコン講習会」「シニアのためのスマホ講座」を、一年間を通し開催致しました。

太子町、河内長野市キックス、スマイルパソコンクラブにおいては、地域住民が中心となって主催するパソコン講座を講師が共にニーズを引き出し、工夫しながら進める方法で長年に渡り続け、孤立防止、生き甲斐づくりに貢献しています。

その他、河内長野市の天野公民館、天見公民館などのパソコンサークルも地域における ICT の底上げとして定着しています。

また、すばるホールやきんき茶ろんでの個別指導のパソコン教室は、就労就職支援のニーズも多く若者から高齢者まで長年定着した講座となっている。

今期は、子どもプログラミング講座を、すばるホール、関西都市居住サービスなどとの協働で開催した。2020 年から小学校でのプログラミング教育の必修になることもあり、今後人気の講座になりそうだ。

ICT 推進事業としては、2018 年度 3,081 名の参加者がありました。

パソコンクラブについては、クラブ代表者を中心として、クラブメンバー同士の友好関係を築き、友好関係の中からパソコンのスキルアップを図る勉強会を実施致しました。

富田林市で勉強会を開催している「とんだばやしうえぶ」、羽曳野市で勉強会を開催している「はびきのうえぶ」では、例年に変わらず、住民中心の勉強会を開催していますが、会員の高齢化に伴い、会員数は減少傾向にあります。

2018 年度とんだばやしうえぶの年間勉強会回数は 66 回、会員数は 15 名、はびきのうえぶの年間勉強会回数は 48 回、会員数 9 名です。

2011 年の「新しい公共モデル事業」で開発した「おはよう伝言板」は、登録者の高齢化による減少の他、携帯電話の機種変更、スマホへの移行でシステムが対応できず事業は、6 月に終了しました。

介護予防事業として 12 年目を迎えた「街かどデイハウスきんき茶ろん」は利用者の高齢化が目立っていますが、歌声サロンやお食事会により登録者数が増加し、2018 年度の街かどデイハウスきんき茶ろんの延べ利用者数は 1685 名、延べ利用時間は 8116 時間となりました。

他、定点型介護予防体操教室・定点型認知症予防教室は定着し、毎回、男女問わず、多くの高齢者が参加し、定点型介護予防体操教室参加人数は延べ 409 名、定点型認知症予防教室は延べ 438 名の参加がありました。

富田林市市民公益活動支援センターとして、市民公益活動の交流場所、活動場所として、4ヶ所のネットワークステーション、5ヶ所の公的連携施設では合わせて、年間9255名の利用者がありました。2ヶ月に一度のニュースレター発行や講習会を実施して、講習会の参加者は年間268名、メルマガの発行部数は年間116通です。

大阪大谷大学との連携で、南河内のつどい会議として志学祭参加、SDGsゲーム参加、人材育成事業実習生受入れなどを行いました。

2月17日には、近隣の大型ショッピングセンター（株）関西都市居住サービスとの協働でエコールロゼを会場とした公益活動の市民への周知啓発が目的のイベント「第14回わくわく広場 in とんだばやし」を開催し、市内外おおよそ70団体の参加、約2000人の動員ができました。

また、「とんだばやし子ども食堂・居場所づくり運営支援ネットワーク」として富田林市こども未来室、富田林市社会福祉協議会と連携し、子ども支援サポーター研修全6回開催等を行い、子ども食堂開催団体6団体の支援、ボランティアの養成、ホームページを作成し活動の発信支援を行いました。

2016年度より始まった生活支援コーディネーター事業も引き続き受託契約致しました。市役所関係各課、包括支援センター、地域の地縁組織団体、有識者等で構成される協議体会議は年間5回、打合せ会議は年間12回実施され出席しました。その他、地域づくりたい会議は月1回、校区交流会議にも出席し、地域の情報収集や情報提供を致しました。また、大阪府主催「大阪ええまちプロジェクト公開講座」に登壇し、富田林市の生活支援コーディネーターの状況を説明しました。

2017年度より受託した金剛地区再生指針推進支援業務では、2019年度、全5回の全体会を開催し、延べ88の方が参加しました。まちづくりの理想像を目指す意見交換を行う会議の他、まちづくりサポーター養成講座を連続4回で開催。延べ52人の参加がありました。

その他、ニュースレターの発行や軽トラマルシェの開催、SNS等での発信、情報の一元化などのコーディネートを実施しました。今後のまちづくり会議の運営については、更に自主的な活動となるように、代表者などの育成や新たな参加者の発掘、「金剛地区まちづくり会議」の浸透、情報発信、予算の確保、規則等のルール作りを目指して活動していきます。

2018年度は「Mira-Ton2018→2019」開催のコーディネート事業も受託しました。市民や学生と行政が“ともに考えともに動いていく”ために、さまざまな年代や地域の方々と一緒に取り組みを話し合う「市民会議“Mira-ton”」をワークショップ形式で全5回開催し、延べ124人の参加がありました。

今年のテーマは富田林のええとこ・ええもんのPRで、ワークショップを通じて、富田林市の魅力を発信する媒体が4つ（チラシ、カレンダー、動画、SNS）完成しました。

2019年11月より、食事の提供を通じて、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりの取り組みとして「子ども食堂」の運営を始めました。月1回の開催には、ボランティアが会議を重ね、工夫を凝らし、子どもの居場所づくりを行っています。

2017年度より、商工会の講座から端を発し誕生したネット集客実践クラブは、2018年度も地域や地域に関連のあるお店や事業所の販売促進のために、商工会のITスキルアップセミナー全9回や創業支援セミナー全2回を担当し、きんきうえぶ事務所でもネット集客実践講座全11回、マンツーマン指導全9回を実施しました。クラブに集まった地域のお店や事業所のメンバーにもコミュニティが生まれ、また結果の出ている商店もあり、少しずつですが、活力あるまちへと繋がっています。

以上2018年度、全て、ICTを基盤とした活動として「人が個人の尊厳を保持され、その人らしい心豊かな人生を送ることができるまちづくりの形成」に、寄与するものとして実施致しました。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

自主事業

(1) (事業名) ICT推進事業

(内 容) 従来の個別指導のパソコン教室、集団のパソコン講座開催などの他、富田林市や社会福祉協議会、人権文化センターからの受託事業として高齢者対象や就労支援のためのパソコン・タブレット・スマホ講座、南大阪の商工会加入企業の販売促進のための技術を指導する講習会などを実施した

(実施場所) 富田林市小金台事務所、商工会（富田林市、大阪狭山市、河内長野市など）すばるホール、富田林市社会福祉協議会、富田林市人権文化センター、河内長野市市民交流センター、河内長野市内公民館等

(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日

(事業の対象者) 富田林市・羽曳野市・河内長野市・太子町・大阪狭山市およびその周辺住民

(収 入) 4,126,580

(支 出) 4,075,097

(2) (事業名) SOHO事業

(内 容) 地域の事業所より依頼のあった入力作業等を受託し、会員で手分けし、作業に当たった

(実施場所) 富田林市

(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日

(事業の対象者) (株)ダイレ、(株)セイコム

(収 入) 2,024,833

(支 出) 2,024,833

(3) (事業名) PCサークル運営事業

(内 容) パソコン勉強会（はびきのうえぶ・とんだばやしうえぶ）でのホームページ作成、画像、HTMLなど

(実施場所) 富田林市・羽曳野市の各公民館・ロゼサロン等

(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日

1年を3ヶ月ずつの4クールに分け実施

はびきのうえぶ延べ48回、とんだばやしうえぶ延べ66回

(事業の対象者) はびきのうえぶ9名、とんだばやしうえぶ15名

(収 入) 150,400

(支 出) 120,771

(4) (事業名) 子ども食堂

(内 容) 小学生以下の子ども達と地域住民対象に、安価に夕食を提供し、地域の居場所作りに取り組む事業。また食事以外にも学習支援や無料のプログラミング教室など、当法人の活動を活かしたレクリエーションを提供した

(実施場所) 富田林市小金台事務所

(実施日時) 2018年11月1日～2019年3月31日

1ヶ月に1回実施

(事業の対象者) 地域住民、小学生、中学生

(収 入) 253,650

(支 出) 263,836

- (5) (事業名) ネット集客実践クラブ
(内 容) 地域や地域に関連のある商店や事業所の販売促進を（ICTを基盤に）応援し、地域活性化をはかる事業
(実施場所) 富田林、大阪狭山市、河内長野市商工会、及び小金台事務所他、出張アリ
(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日
(事業の対象者) 地域住民、商店、事業所
(収 入) 393,000
(支 出) 11,100

受託事業

- (1) (事業名) 介護予防事業
(内 容) 街かどデイハウスきんき茶ろん、定点型介護予防教室、定点型認知症予防教室など、富田林市より委託。
(実施場所) 富田林市小金台事務所
(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日
(事業の対象者) 富田林市内、介護保険受給外高齢者（65才以上）
(収 入) 6,198,320 ※街デイ教室実費徴収を含む
(支 出) 6,116,869
- (2) (事業名) 市民公益活動支援センター
(内 容) 市民公益活動・ボランティア活動をしている人、したい人、関心のある人、学びたい人、交流したい人が気軽に使えるふれあいの場の提供
富田林市より受託
多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応し、市民生活のさらなる発展を期するために、今後の行財政運営は、民間の知恵や活力を導入するとともに、地域のボランティアやNPO等の市民活動との協働を図る必要がある。
専門的な技術やノウハウを持つボランティア・NPOがともによきパートナーとして、まちづくりに参加できる環境を整備する。具体的には、市民公益活動に関する情報の提供、市民公益活動及びNPO法人設立の相談、またNPO・ボランティア講演会や市民公益活動推進関連講座等の開催を行う。
(実施場所) 富田林市小金台事務所他
(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日
(事業の対象者) 富田林市内の市民、団体
(収 入) 7,510,000
(支 出) 7,543,183
- (3) (事業名) 第3圏域生活支援コーディネーター受託事業
(内 容) 高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネーター機能を果たす者を「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」とし、富田林市では圏域ごとに配置された。
関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、上記のコーディネーター業務を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービス

の提供体制の整備に向けた取組を推進することを目的としている。

(実施場所) 富田林市第3圏域

(実施日時) 2018年4月1日～2019年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内の市民

(収入) 1,289,000 (見込み)

(支出) 1,293,200

(4) (事業名) まちづくりコーディネート事業

(内容) 住民・地域団体・事業者等が主体となって、大阪府富田林市金剛地区の再生・活性化を進めるための企画提案実施を支援する事業や、富田林市市民会議「Mira-Ton」のコーディネート

(開催場所) 富田林市内

(開催日時) 2018年4月1日～2019年3月31日

(事業の対象者) 富田林市内住民

(収入) 3,998,916 (見込み)

(支出) 3,980,000

IV 社員総会の開催状況

第16期通常総会

(日時) 2018年5月13日(日) 11時から12時

(場所) Tokimeki-life ナカリン

(社員総数) 30名

(出席者数) 27名(うち委任状出席者15名)

(内容) 第1号議案 2017年度事業報告について
第2号議案 2017年度会計報告について
第3号議案 2017年度監事報告について
第4号議案 2018年度事業計画・予算について

(審議結果) 各議案について、全員異議なく承認し、本案は可決された。

V 理事会その他の役員会の開催状況

1 2018年度理事会

年間を通じて 5回

(日付内容) 2018年5月2日 前年度報告、次年度打合せ

2018年7月2日 街デイ事業について打合せ

2018年9月3日 子ども食堂について打合せ

2018年10月29日 今後の事業&クラブ活動について

2019年1月11日 新年会について、助成金申請内容について

2019年2月6日 次回総会について打合せ

2 運営会議：街かどデイハウスきんき茶ろんスタッフ会議及び、事務局会議、クラブ代表者会議

年間を通じて 18回 各部門の調整及び情報交換

2018年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2019年 3月 31日現在

科 目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	737,734		
未収金	5,307,559		
前払費用			
流動資産合計		6,045,293	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計	206,591		
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計	0		
(3)投資その他の資産	0		
投資その他の資産合計	0		
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			6,251,884
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,697,858		
預り金	49,981		
流動負債合計		1,747,839	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計 (B)			1,747,839
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産			3,885,766
当期正味財産増加額 (減少額)			618,279
正味財産合計 (C)			4,504,045
負債及び正味財産合計 (B) + (C)			6,251,884

2018年度の事業会計財産目録

特定非営利活動法人 きんきうえぶ

2019年3月31日現在

科 目	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
(現金・預金)			
現金	184,114		
普通預金	550,112		
三菱東京UFJ	401,563		
近畿大阪	108,636		
りそな	32,683		
三井住友	1,862		
ゆうちょ	3,000		
紀陽	2,368		
当座預金	3,508		
ゆうちょ	3,508		
現金・預金計		737,734	
(売上債権)			
未収金	5,307,559		
		5,307,559	
(その他流動資産)			
前払費用	0		
		0	
流動資産合計		6,045,293	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	1,380,000		
什器備品	896,000		
減価償却累計額	△ 2,069,409		
有形固定資産合計		206,591	
(2)無形固定資産	0		
無形固定資産合計		0	
固定資産合計		206,591	
資産合計 (A)			6,251,884
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,697,858		
預り金	49,981		
流動負債合計		1,747,839	
負債合計 (B)			1,747,839
正味財産 (A) - (B)			4,504,045

2018年度 特定非営利活動に係る活動計算書

特定非営利活動法人きんきうえぶ

2018年 4月1日から 2019年 3月31日まで

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 入会金・会費収入	127,000	127,000	
2 受取寄付金	17,000	17,000	
3 事業収入			
自主事業	8,946,783		
ICT推進事業	4,126,580		
SOHO事業	2,024,833		
PCサークル運営	150,400		
子ども食堂	253,650		
ネット集客実践クラブ	393,000		
実費徴収	1,998,320	8,946,783	
受託事業	16,997,916		
街かどデイハウス	3,000,000		
介護予防体操	600,000		
認知症予防教室	600,000		
市民公益活動支援センター	7,510,000		
生活支援コーディネーター	1,289,000		
まちづくりコーディネート事業	3,998,916	16,997,916	
4 その他収益			
受取利息	1		
雑収益	347,668	347,669	26,436,368
経常収益計			26,436,368
II 経常費用			
1 事業費			
(人件費)			
給料手当	4,187,570		
福利厚生費	109,449		
人件費計	4,297,019		
(その他経費)			
事業支出	118,336		
業務委託費	12,976,405		
諸謝金	909,264		
印刷製本費	132,095		
新聞図書費	10,360		
旅費交通費	558,110		
車両費	149,802		
通信運搬具	728,651		
消耗品費	851,773		
食材料費	501,708		
水道光熱費	545,264		
地代家賃	2,966,000		
賃借料	572,256		
保険料	28,288		
諸会費	35,000		
租税公課	3,200		
支払手数料	45,358		
その他経費計	21,131,870		
事業費計		25,428,889	
2 管理費			
租税公課	149,200		
支払手数料	240,000		
その他経費計	389,200		
管理費計		389,200	
経常費用計			25,818,089
当期正味財産増減額			618,279
前期繰越正味財産額			3,885,766
次期繰越正味財産額			4,504,045

※ 当該年度はその他の事業の実施がありませんでした。